

東京・春・音楽祭 2019

SPRING FESTIVAL IN TOKYO 2019

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.6

Tokyo-HARUSAI Choral Works Series vol.6

東京
春祭

TOKYO OPERA NOMORI

2005-2019 15th

後期ロマン派最後の傑作

指揮: 大野和士

ヴァルデマール王: クリスティアン・フォイクト

トーヴェ: エレーナ・パンクラトヴァ

山鳩: 藤村実穂子

農夫: 甲斐栄次郎

道化師クラウス: アレクサンドル・クラヴェッツ

語り手: フランツ・グルントヘーバー

管弦楽: 東京都交響楽団

合唱: 東京オペラシンガーズ

合唱指揮: マティアス・ブラウアー、宮松重紀

グ
ン
ベ
ル
ク
の
歌

Schönberg
Gurre-Lieder

The Last Masterpiece in the Second Half of Romantic Period

Conductor: Kazushi Ono

Waldemar: Christian Voigt Tove: Elena Pankratova

Waldtaube: Mihoko Fujimura Bauer: Eijiro Kai Klaus Narr: Alexander Kravets Sprecher: Franz Grundheber

Orchestra: Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Chorus: Tokyo Opera Singers Chorus Master: Matthias Brauer, Shigeki Miyamatsu

4/14 15:00 東京文化会館 大ホール

[日]

April 14 [Sun.] at 15:00 Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

好評発売中 S¥13,900 A¥10,800 B¥8,700 C¥6,700 D¥4,600 E¥3,600 U-25¥2,100 (税込) ※U-25は2月8日[金]12:00より発売

【公式サイトのみで取扱い】

主催: 東京・春・音楽祭実行委員会 助成: 公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.6

シェーンベルク《グレの歌》～後期ロマン派最後の傑作

Tokyo-HARUSAI Choral Works Series vol.6
Schönberg "Gurre-Lieder" -The Last Masterpiece in the Second Half of Romantic Period

美しく壮大なシェーンベルク初期の音楽。
ヤコブセンの散文に綴られた哀しい愛のものがたりを、大野×都響、オペラシンガーズ、最高のソリスト陣、理想の組み合わせでお届けします。
音楽祭の15周年のフィナーレを飾る圧巻の演奏を。



大野和士 (指揮) Kazushi Ono (Conductor)

現在、東京都交響楽団音楽監督、バルセロナ交響楽団音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督。1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。これまでに、ザグレブ・フィル音楽監督、都響指揮者、東京フィル常任指揮者(現・桂冠指揮者)、バーデン州立歌劇場音楽総監督、ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)音楽監督、アルトゥーロ・トスカニーニ・フィル首席客演指揮者、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者を歴任。2017年5月、9年間率いたリヨン歌劇場がインターナショナル・オペラ・アワードで「最優秀オペラハウス2017」に選出。同年6月フランス政府より芸術文化勲章「オフィシエ」を受章、リヨン市からリヨン市特別メダルを授与。

© 堀田力丸 写真提供:東京交響楽団

東京都交響楽団 (管弦楽) Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra (Orchestra)

東京オリンピックの記念文化事業として1965年に東京都が設立。歴代音楽監督は森正、渡邊暁雄、若杉弘、ガリー・バルティニ。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エアフ・インバルが桂冠指揮者。定期演奏会を中心に、教育・社会貢献活動等を展開。首都東京の音楽大使として「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、文化芸術の活性化と機運醸成を図っている。

東京オペラシンガーズ (合唱) Tokyo Opera Singers (Chorus)

1992年の《さまよえるオランダ人》公演に際して、「世界的水準のコーラスを」という小澤征爾の要請により、東京を中心に活躍する中堅・若手の声楽家により創設。以後、サイトウ・キネン・フェスティバル(現セイジ・オザワ 松本フェスティバル)、東京・春・音楽祭等を中心に活動しながら、バイエルン国立歌劇場、ウィーン・フィル他と共演し、高い評価を得る。2018年10月、上海音楽祭に出演。2019年1月にはリカルド・ムーティ指揮シカゴ交響楽団の来日公演に出演予定。



© 堀田力丸

クリスティアン・フォイクト ヴァルデマル王(テノール) Christian Voigt Waldemar(Tenor)

ベルリン生まれ。ハンス・アイスラー音楽大学でディートリヒ・フィッシャー＝ディエスカウ他に師事。ザルツブルクの第6回モーツァルト国際コンクール優勝。2011年フィリップ・ジョルダン指揮の《ジークフリート》題名役でオペラ・バステューユにデビュー。ワーグナー作品を中心に活躍。



エレナ・パンクラトヴァ トーヴェ(ソプラノ) Elena Pankratova Tove(Soprano)

露エカテリンブルク生まれ。サントペテルブルク音楽院卒業。イタリアやスペインの国際声楽コンクールで優勝。ソプラノ歌手レナータ・スコットに師事。2010年フィレンツェ五月音楽祭でズービン・メータ指揮の《影のない女》染物師の妻役を好演。欧米の主要歌劇場に多数出演。



© Vitaly Zorovskiy

藤村実穂子 山鳩(メゾ・ソプラノ) Mihoko Fujimura Waldaube(Mezzo Soprano)

東京藝術大学大学院修了後、ミュンヘン音楽大学大学院に留学。2002年バイロイト音楽祭にデビュー。ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場等に出演。出光音楽賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、エクソンモービル音楽賞、サントリー音楽賞の各賞を受賞。2014年紫綬褒章受章。



© R&G Photography

甲斐栄次郎 農夫(バリトン) Eiji Kai Bauer(Baritone)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ニューヨーク、ボローニャにて研鑽を積む。2003年より10年間ウィーン国立歌劇場専属ソリストとして、ノッティンガム公爵、エンリコ、シャープレス役等で活躍、42役336公演に出演。東京藝術大学准教授。聖徳大学客員教授。洗足学園音楽大学客員教授。二期会会員



アレクサンドル・クラヴェッツ 道化師クラウス(テノール) Alexander Kravets Klaus Narr(Tenor)

ウクライナ・オデッサ生まれ。モスクワ音楽院卒業。その後、渡独。喜劇的な役を得意とするテノール。《ヨスタコーヴィチ(鼻)》や《ムツェンスク郡のマクベス夫人》での歌唱が高く評価される。近年は《利口な女狐の物語》、《死者の家から》、《魔笛》、《エフゲニー・オネーギン》等に出演。



フランツ・グルントヘーバー 語り手(バス・バリトン) Franz Grundheber Sprecher(Bass Baritone)

独トリール生まれ。インディアナ大学ブルーミントン校で学ぶ。1966年ハンブルク国立歌劇場と契約し、2000以上の公演に出演。ウィーン国立歌劇場とハンブルク国立歌劇場から「宮廷歌手」の称号を授与されている。2005年サイトウ・キネン・フェスティバル松本の《グレの歌》にも出演。



東京・春・音楽祭2019

SPRING FESTIVAL IN TOKYO 2019

3.15 Fri. - 4.14 Sun. 上野の森に桜が訪れ音楽が始まる

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う――

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1カ月にわたり開催する音楽祭です。15回目の春を迎える2019年は、リカルド・ムーティによる「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」と、バイロイト音楽祭との提携で上演する「子どものためのワーグナー」の2つの企画を開始する他、東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」や「合唱の芸術シリーズ」をはじめとした国内外の一流アーティストによる公演、上野の森に点在する美術館・博物館での「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」等、過去最大規模の約200公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる――そんな「東京・春・音楽祭2019」が東京・上野の春を美しく彩ります。

東京・春・音楽祭2019は「beyond2020プログラム」として認証されています。

東京・春・音楽祭チケットサービス

<http://www.tokyo-harusai.com/>

公式サイト
限定の
嬉しい
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービスにて、右記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座席・枚数は限定されております。詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

オペレーター対応
【営業時間 10:00-18:00 土日祝:休】
※音楽祭開催期間中は、土日祝も上記時間にて営業いたします。

03-6743-1398

※車椅子座席、団体でのご鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会(03-5205-6497)までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の曲目は、当日の演奏順と異なる場合がございます。※チケット代金お支払い後におけるお客様の都合による変更・キャンセルは承りません。※掲載の情報は2019年3月1日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

【その他プレイガイド】

- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/>
0570-02-9999(音声自動応答) ☎597-880
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/harusai/> ☎38620
0570-000-407(オペレーター)
- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(オペレーター)
- 都響ガイド <https://yyk1.ka-ruku.com/tmso-t/>
0570-056-057(オペレーター)

公演に関するお問合せ
東京・春・音楽祭実行委員会
03-5205-6497

